

おひさま

発行：社会福祉法人えどがわ
東京都江戸川区松島 1-40-18
発行責任者：田澤 茂

2014 年 12 月 25 日
第 11 号



「成長」

社会福祉法人えどがわ
副理事長 秋山 秀阿
(江戸川区認可私立保育園園長会会長)
(光徳保育園園長)

保育園で過ごす子ども達の年齢は、小学校入学前までの、この世に生を受けて 2,190 日(約6年)です。

人間の子どもといっても生まれた時から人間ではありません。人間以外の他の哺乳動物の赤ちゃんと同じように「ヒト」の赤ちゃんでしかありません。つまり人間は最初、ただの動物でしかないのです。それが育てられるなかで「人間」になっていくのです。

「ヒト」という動物がどのような育ち方をすれば「人間」になれるのか。同時に「コドモ」がどのような手続きで「オトナ」になるのか。まず、「ヒト」という動物が「人間」になるためには自分をコントロールできないといけません。また、自己中心的で身勝手な自分の欲望を客体化できるように鍛えないといけません。

次に「コドモ」が「オトナ」になるためには「型」を身につけないといけません。まず第一に「ご飯の食べ型」です。「挨拶のし型」や「掃除のし型」など、その「型」をしっかりと身につけさせると、そこから個性になります。「型」を学んで身につけたところから「型」を破ろうとする意志が働きます。「型」を破ったとき、その「型」に血が通い、その人固有の「形」になるのです。

「どのような人間になるのか」は、さまざまな環境に左右されます。その環境は家庭であり、保育園であり、いちばんは私達「オトナ」、「大人」という人間と言えませんか。





写真で綴る

おひさま保育園

第六回
にゅえんしき
社会福祉法人えどがわ
西荻町おひさま保育園





おひさま保育園の家庭支援

おひさま保育園 16 園では地域の皆様に気軽に保育園を利用いただけるように保育園を開放し、家庭支援を行っています。



子育てひろば

毎月、手遊びや運動遊び、季節を感じる制作など、親子で楽しめる内容を企画しています。

※南葛西おひさま保育園は改修工事のため、H27.3 頃まで中止

一時保育

保護者の方の通院やリフレッシュなど、さまざまな理由でお子様を一時的に預けたいときに利用できます。

● 一時保育実施園

子育て相談

育児相談などを受付けています。

※家庭支援の詳細は各園のホームページをご覧ください。

おひさま会交流会を行いました



おひさま会では会員同士がより親睦、交流が図れるようにとの思いから、新たな試みとして9月12日にタワーホール船堀にて「おひさま交流会」を開催しました。当日は、総勢 197 名の会員が参加し、美味しい食事をいただきながら交流や歓談を楽しみ、イベントは大いに盛り上がりました。短い時間ではありましたが、笑い合いながら、親睦を深め、有意義な時間を過ごすことができ、今後の保育の糧、力となる交流ができたと思います。おひさま会では今後も会員の志気が高められるような企画、イベントを提供していきたいと考えています。会員皆様のお力添えを頂き、おひさま会を盛り上げていきましょう！

おひさま会理事 市原 亮



おひさま TOPICS

「運動会」南葛西おひさま保育園



10 月 4 日に 2 回目となる運動会を行いました。民営化前より続いている保護者にご協力をいただく応援旗作り。「お父さん、お母さんと作ったよ」と子どもたちの笑顔と共に園内の廊下には個性的な作品がずらりと並び、親子で応援旗を眺めながら「運動会が楽しみだね」と 1 日

の始まりや終わりを迎える和やかな時間となっていました。

運動会前日、準備のために応援旗が外されると寂しそうな表情を見せた 4 歳児がいました。「運動会で園庭に飾るのよ」と保育士が伝えると「空に!？」と笑顔。園庭に吊るすことを知り、「やったー!!」と声を上げて喜んでいました。運動会を迎えるにあたり、保護者の皆様の大きな愛が原動力となっていることを改めて感じた出来事でした。運動会終盤、「ありがとう」の歌を唄い、感極まり涙を見せた 5 歳児。親子の愛が通い合う時間を共に過ごせたことが保育士として幸せを感じた運動会でした。

主任 榎本 明子

「美味しい秋、見つけた」葛西第二おひさま保育園



10 月 16 日に 4・5 歳児合同で芋掘り遠足に行きました。5 歳児は去年雨で芋掘りが出来なかったもので、4 歳児と共に今年が初めての芋掘りです。現地に到着すると、畑を目の前にワクワクした気持ちで表情に表れていた子ども達。いざ芋掘りを始めると、土に触ることに慣れていないのか、恐る恐る土をかき分けお芋を取り出そうとしていましたが、保育

士が見本を見せると、要領をつかみダイナミックに土をかき分け、見事な大きさのお芋を掘ることが出来ました。

色々な食材を食べ味わうことも大切ですが、自分達が食べている物がどのように実り、収穫されているのかを知る良い機会となり、食育に繋がる体験が出来たと感じました。みんなで掘ってきたお芋は 5 歳児が行う「おいもパーティー」で全園児に振る舞いました。カリカリ・ホクホクのお芋はみんなに大人気！あっという間に食べ終わってしまい、秋の季節を感じる行事となりました。ひまわり組さん、おいしいお芋をご馳走様でした！

副主任 金久保 亜起子

おひさま TOPICS

「藍染体験」 清新おひさま保育園



「モノ作りの楽しさを伝えたい!」そう思ったことが藍染を計画したきっかけです。種を蒔いて毎日たっぷり水やりや草むしりをしながら大切にお世話をしてきました。日々の成長を嬉しそうに報告してくれたぶどう組さん。次第にその楽しみが周りに広がり、他のクラスの子も達や保護者の方々も興味を持ってくれるようになりました。

種蒔きから約 3 か月。藍の葉は青々と茂り、花が咲く直前、染物に最も適した時期に収穫しました。ミキサーを使って藍の青汁を作り、その中に布を漬け空気に晒して染色。最初は緑色だった布が酸素に触れることで化学変化を起こし、鮮やかな藍色に変わる様子を興奮気味に見つめていた子ども達。

運動会では藍染した布を旗や衣装として使い、手拭を腰に巻くと子ども達の表情が引き締まり、見事にオープニングを飾ることが出来ました。

これからも藍染が受け継がれ、清新おひさま保育園の伝統にしていけたらと思っています。

保育士 鈴木 孝子

「芋掘り」 東小松川おひさま保育園



4・5 歳児クラスの子も達がとても楽しみにしていた芋掘り遠足に行ってきました。当日は、天候にも恵まれ、バスの中では、隣に座っている子ども達から「あとどれくらいで着くの?」と何度も聞かれました。畑に着くと子ども達の気持ちは更に上がり、いよいよ芋掘り!

土の中で育っているお芋は、なかなか抜けず、子ども達は苦戦していました。土を直接触った時の感触や抜けた瞬間の笑顔が忘れられませんでした。

芋掘りの後は、お楽しみのお弁当です。お家の方が一生懸命作ってくれたお弁当を嬉しそうに食べていた姿がとても印象的でした。

東小松川おひさま保育園は、自然環境に恵まれています。街中の自然と違った大自然は素晴らしく、大人も子ども達も大変よい経験となり、充実した 1 日となりました。

園長 山崎 陽

法人給食だより

寒暖の差がある季節の変わり目は体調を崩しやすいので、生活リズムを整えましょう。しっかり身体の芯から温まる食事、体に熱をたくわえる食べ物を摂り、ぐっすり眠って、よく身体を動かすことが大切です。

風邪を予防する身体をつかって元気に

食べ物で風邪をやっつけよう!!

1. しっかり食べて免疫力アップ! <風邪を予防する4つの栄養素>

たんぱく質：魚・肉・卵・大豆製品などは、血や肉をつくり、脂肪をもえやすくして、身体を温めます。

脂 肪：油は少量でもエネルギーをたくさん出すので、身体が温まります。

ビタミンC：寒さに対する抵抗力を強くする働きがあります。

(みかん・柿・ブロッコリー等)

ビタミンA：のどの粘膜を丈夫にします。(かぼちゃ・人参・ほうれん草・小松菜等)

大根・かぶ・ねぎ・人参・白菜など寒くなっておいしくなる食べ物は、身体を温めるものが多く、火を加えるとカサが減るので鍋物など献立に入れやすいですね。

人気の給食メニュー スパゲティ・ナポリタン

【材料】4人分(大人2人・子ども2人) 提供：ジャックスフードサービス株式会社

- ・スパゲティ 300g・ウイナー 120g・玉ねぎ 120g・人参 90g・ピーマン 30g
- ・マッシュルーム缶 30g・オリーブオイル 30g・トマトケチャップ 160g・ウスターソース 48g・砂糖 24g
- ・醤油 24g・粉チーズ はお好みで

【作り方】

- ①人参は皮をむいて千切りにする。
- ②玉ねぎは皮をむき、ピーマンはへたと種を取り、1/4にしてスライスする。
- ③ウイナーは3mmほどのスライスにする。
- ④フライパンを熱し、オリーブオイルをひき、野菜とウイナー、マッシュルームを炒めて、調味料で味付けする。
- ⑤スパゲティを茹で、水分を切りすぎないようにして、④と合わせる。
- ⑥お皿に盛り付け、お好みで粉チーズをかけて出来上がり。



リレー随筆

今年も梅の季節に 5 歳児と一緒に梅干作りに挑戦しました。準備の日に予定が入ったため、子ども達に宛てた手紙と、梅干作りの絵本を担任に渡し、梅の軸取りと、水洗いをお願いしました。次の日、私の机の上には一晩水に浸した梅と絵本が戻っていました。それを見て直ぐに子ども達一人ひとりの顔が浮かび、ワクワクしました。子ども達が登園して来ると、「昨日お手伝いちゃんとやったよ」「絵本の 8 ページのところやっておいだよ」「いいにおいがしたよ」など、報告が止みませんでした。その後も途中の過程を手伝ってもらいながら、今は蜂蜜に漬け透明の瓶に入れていきます。未だに梅干の関心は高く、事務所に来ると梅干を見せて下さい」と眺めています。

- 近隣の小学校からいただいた、お便りの巻
- 頭文に「一匹の魚を与えれば一日食べられる。
- 魚の釣り方を教えれば一生食べられる」とあり
- ました。職員と一緒にこの言葉から、保育
- の中で子ども達に何を伝えていけばよいか
- を考えました。まずは「知ることは楽しい」
- ということなのかもしれません。今年は 5
- 歳児と味噌作りも行いました。保育室に炊飯
- 器を置き、ご飯炊きをして、香も楽しんでい
- ます。もちろん米研ぎは子ども達。今後、梅
- 干おにぎりと
- 味噌汁を作っ
- ていただく予
- 定です。



南葛西おひさま保育園
園長 藤ノ木 博子

研修に参加しました



年々、食物アレルギーを持つ園児が増え、私達保育士も毎日細心の注意をしながら保育をしています。その中で今回のエピペン研修に参加して改めて勉強することが出来ました。一番印象的だったのは、調布市で起きた誤食事故の経緯、反省を踏まえての話でした。保護者・保育士・栄養士・調理員等が全員で共通の理解を持って日々の仕事を行うことが大切であること、また、間違い防止のために工夫と安全確認を怠らないことを再認識させら

- れ、研修後の保育に対する意識も高めら
- れたと思います。エピペンについては、
- 使用方法や効能を再確認し、早急な対応
- が必要とされるので打ち方だけでなく、
- 各保育園のアレルギー児に合わせた対応
- を考えなくてはならず、定期的にシミュ
- レーションをすることはとても重要だな
- と感じました。
- 今回の研修を通して、ポイントとなる
- のは、人と人との繋がりやチームワーク、
- そして全職員が共有できる知識であると
- 感じました。これからも学ぶ意識を忘れ
- ず、保育専門者として子ども達と有意義
- に過ごせるような保育を進めたいと思っ
- ています。

春江おひさま保育園
保育士 寺島 純子

編集後記



年の瀬になりました。皆様にとって平成 26 年はどんな年でしたでしょうか。

おひさま保育園では、子ども達も職員もたくさんの交流を行い、新しい出会いが増えた 1 年となりました。平成 27 年も皆様にとってよい年となりますように。 編集委員